

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本 英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2015年6月22日月曜日 23:33
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年6月22日発行
添付ファイル: ○2015中部産遺研第135定例研究会20150712.pdf; ○2015 9定例見学会案.pdf

//
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年6月15日発行 /
/ 中部産業遺産研究会にご興味のある方に、このメールを是非転送して下さい。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 7月12日開催の第135回研究会についてのご案内【New】
- 【3】 第136回定例研究会・見学会のご案内【New】
- 【4】 平成27年度総会の報告等がホームページに掲載されました【New】
- 【5】 大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第27回／杉本漢三【New】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第135回例会 2015/07/12(日) 13:00～ 産業技術記念館 ホールA【日時に注意！】
- 第136回例会・見学会 2015/09/27(日) 10:00～ 木曾川文庫、木曾川下流改修工事
関連施設、資料館、周辺施設など予定
- 平成27年度パネル展 2015/11/17(火)～29(日) 名古屋都市センター11階
テーマ「東海の絹・文化と産業遺産」
- 第137回例会・パネル展講演会 2015/11/22(日) 13:00～ 名古屋都市センター11階

【2】 7月12日開催の第135回研究会についてのご案内【New】

中部産業遺産研究会第135回研究会を下記の通り開催致します。

日時 2015年7月12日 日曜日 13:00～
会場 トヨタ産業技術記念館 ホールA

当日は、定例研究会を午後1時～2時に開催致します。
それに引き続き、「第1回さんぎ大学 講話会」を開催致します。
(主催：トヨタ産業技術記念館・共催：中部産業遺産研究会)
第1回目となる今回は、

「産業遺産」とは
というテーマで開催致し、当会副会長の天野武弘先生、トヨタ産業技術記念館副館長の成田年秀様の講話、それに続いて、トヨタ産業技術記念館で発掘された煙突基礎の遺構の見学会も行います。

14:30～のさんぎ大学は、一般の方にも公開される産業技術記念館の行事です。

当日の内容の詳細は添付ファイルをご参照下さい。

また、さんぎ大学の内容については、
<http://www.tcmit.org/information/2015/06/post-207.html>

をご参照下さい。

研究会、さんぎ大学ともに参加のお申し込みは不要です。ご興味のある方にもご紹介下さい。

【3】第136回定例研究会・見学会のご案内【New】

第136回定例研究会・見学会を次の通り開催致します。

【ご注意】

- 1) 参加のお申し込みが必要ですのでご注意ください。
- 2) お申し込みは7月12日までにお願いいたします（申込先は下記をご参照下さい）
- 2) 当日午前6時に名古屋地区に暴風・大雨警報の発令時は中止予定です。

開催日時：2015年9月27日（日曜日）10時集合～15時頃解散 雨天決行

集合場所：近鉄長島駅（南側が出口） 10時

参加費：500円（入館料、自家用車提供者へ謝礼）当日受付の時

【内容】

「木曾三川資料館 木曾川文庫見学と河川改修施設・遺構を見る。」
午前：近鉄長島駅より、乗用車乗り合わせにて20分程度の「木曾川文庫」を見学。薩摩藩による宝暦治水工事、デ・レーケ指導の明治改修工事の調査・計画関連資料の説明を受けます。公園内の重要文化財「船頭平閘門」、デ・レーケ像を見学し、木曾三川公園治水タワー
広場にて、昼食（各自持参）と休憩。

午後：薩摩藩の宝暦治水殉職者を祭神とする「治水神社」及び「近代治水百年記念碑」を見学・参拝。同時に明治改修で施工されたケレップ水制工が河川内に見られます。最後に輪中の災害歴史・生活・文化を勉強できる「輪中の郷」へ移動し見学。

15時頃：長島駅に戻り解散します。（尚、輪中の郷は入館料310円が必要となります）

参加希望者は 住所、氏名、自家用車を出すことに協力可能か同乗の区別を明示し下記へ申し込み。自家用車の準備がありますので見学会参加希望者は7月定例研究会当日（7/12）までに連絡をお願いします。

事務局大橋まで E-mail : ohashi05@ai.wakwak.com

添付ファイルもご参照下さい。

【4】平成27年度総会の報告等がホームページに掲載されました【New】

5月17日に開催された平成27年度中部産業遺産研究会の総会の報告および資料等がホームページに掲載されましたので、お知らせ致します。

【5】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第27回／杉本漢三【New】

黄金比

時空を超えた数字で表す美の基準として「黄金比」が用いられる。
これは、 $1 : 1.618 = 5 : 8$ であり、「ミロのビーナス」の足元からへそまでと頭頂部までの比およびへそ首の付け根までと頭頂部までの長さの比がそれぞれ1対1.618になっている。
幾何学に詳しくレオナルドは人体の比率に熱心で、有名な「ウィトルウィウスの人体図」は、「ミロのビーナス」同様にへそから足元までの頭頂部までの身長との比が1:1.618になっている。同じくレオナルドの「モナリザ」の顔も縦横比が1対1.618になっている。代表的な例は、名刺である。ノートパソコンの15.6インチ画面もこれに近い。
ちなみに「フィボナッチ数列」(直前の2数を足した数列)の2、3、5、8、13の隣り合う数の比が限りなく黄金比に近づいている。なお、日本の文化は、風呂敷、4畳半の正方形の対角線との比である「白銀比」であり、 $1 : \sqrt{2} = 1 : 1.414$ である。菱川師宣の「見返り美人」は、帯を基準に上半身と下半身の比が、1:1.414になっている。



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹
E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。
このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。
<http://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。
その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。

中部産遺研第135公開定例研究会・第1回さんぎ大学（講話会）

2015/07/12

於：トヨタ産業技術記念館 会議室 参加：（ ）名
会場にプロジェクター・スクリーンは設置されている

13:00

司会（漢人省三）、記録（朝井佐智子）

新会員紹介

1. 研究報告、調査報告

[135-11-01] 「緑区有松の捕虜収容所跡と作家城山三郎の青春」 馬場慎一（20分）
質疑5分

[135-11-02] 「コマツ G40 ブルドーザーと海軍施設本部沼津屋外実験所」 国立 篤 （20分）
質疑5分

2. その他の諸報告、保存問題など

[135-21-01] 「」（10分）

[135-21-02] 「」（10分（事務局）

3. 研究誌、会報（研究会ニュースレター）

[135-31-01] 研究誌『産業遺産研究第22号』配布について 浅野伸一（5分）
[135-31-02] 会報ニュースレター 電子メール版の原稿募集 橋本英樹（2分）

4. シンポジウム

[135-41-01] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回 報告 山田貢（3分）
[135-41-02] 「」（分）

5. 見学会、その他の催し物

[135-51-01] 第136回例会・見学会 馬場慎一（5分）

2015/09/27(日) 10:00 集合～15:00 解散 雨天決行

「木曾三川資料館 木曾川文庫見学と河川改修施設・遺構を見る。」

集合場所：近鉄長島駅（南側が出口） 10時 自家用車に分乗

参加費：500円（輪中の郷入館料、自家用車提供者へ謝礼）当日受付の時

午前：近鉄長島駅より、乗用車乗り合わせにて20分程度の「木曾川文庫」を見学。薩摩藩による宝暦治水工事、デ・レーケ指導の明治改修工事の調査・計画関連資料の説明を受けます。公園内の重要文化財「船頭平閘門」、デ・レーケ像を見学し、木曾三川公園治水タワー広場にて、昼食（各自持参）と休憩。

午後：薩摩藩の宝暦治水殉職者を祭神とする「治水神社」及び「近代治水百年記念碑」を見学・参拝。同時に明治改修で施工されたケレップ水制工が河川内に見られます。最後に輪中の災害歴史・生活・文化を勉強できる「輪中の郷」へ移動し見学。

15時頃：長島駅に戻り解散します。（尚、は入館料310円が必要となります）

参加希望者は 住所、氏名、自家用車を出すことに協力可能か同乗の区別を明示し下記へ申し込み。

自家用車の準備がありますので見学会参加希望者は7月定例研究会当日(7/12)までに連絡をお願いいたします。事務局大橋へE-mail : ohashi05@ai.wakwak.com 電話・FAX : 052-876-0337

[135-51-02] 「定例研究会で見方調べ方や調査研究報告予定及び見学希望の用紙記入のお願い」
例会幹事(1分)

[135-51-03] 第14回「ものづくり文化再発見!ウォーキング」報告 柳田哲雄(2分)
日時 平成27年6月7日

コース 愛知県庁・名古屋市役所⇒名古屋市市政資料館⇒カトリック主税町教会⇒旧春田鉄次郎邸⇒旧豊田佐吉邸⇒文化のみち榎木館⇒文化のみち二葉館⇒三菱東京UFJ銀行貨幣資料館⇒名古屋陶磁器会館⇒建中寺・徳興殿⇒徳川美術館⇒徳川園⇒大曾根の道標⇒山田天満宮・金神社⇒山田重忠旧里の碑⇒曾我ガラス(株)⇒金虎酒造 約8km 参加者数 673名
中部産業遺産研究会の説明担当箇所 愛知県庁本庁舎・名古屋市役所本庁舎:寺沢さんと柳田が担当
徳興殿:野口さんが担当

[135-51-04]

6. 文献紹介、資料紹介 ()内は紹介者

【参考文献】

[135-61-01] 「産業考古学研究」2015年第2号 東京産業考古学会 (事務局)

[135-61-02] 「東京産業考古学会ニューズレター」No.0112 2015.5.15 (事務局)

【参考資料】

[135-62-01] 「信州の土木 魅力のマップ」土木・環境しなの技術支援センター (事務局)

[135-62-02]

【その他の資料】

[135-63-01] 「」 (事務局)

[135-63-02] 「」 (事務局)

7. 出版広報事業

[135-71-01] インターネット <http://csih.sakura.ne.jp/> 左記です。一度ご覧下さい。

[135-71-02] 中部産業遺産研究会の本

8. 委員会、役員会、研究分科会

[135-81-01] 幹事会・役員会等 (事務局)

2015年度(平成27年度)

・第1回幹事会 2015/06/16 研究会の旗(ロゴマーク)の作成について

[135-81-02] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 実行委員会

・第1回 2015/03/22(日) 10:00~ 大同大学滝春校舎本館14F 交流会室

[135-81-03] 第11回2014年度パネル展「東海の絹・文化と産業遺産」勉強会

- ・第1回 2014/02/08(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第2回 2014/04/12(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第3回 2014/06/14(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F

[135-81-04] 研究誌『産業遺産研究第22号』編集委員会

- ・必要に応じて電子メールや電話にて開催

9. 総務・事務局関係

[135-91-01] 研究会スケジュール、関連団体スケジュール、他

- ・第135回例会 2015/07/26(日) 13:00～ トヨタ技術記念館予定
- ・第136回例会・見学会 2015/09/27(日) 10:00～ 木曾川文庫、木曾川下流改修工事
関連施設、資料館、周辺施設など予定
- ・第137回例会・パネル展講演会 2015/11/22(日) 13:00～名古屋都市センター
- ・第138回例会 2016/01/24(日) 13:00～未定
- ・第139回例会 2016/03/20(日) 13:00～未定

[135-91-02] 会員異動 () 内は入会日・退会日 2015.03.20 現在 会員数 126名

- ・入会：山田富久 興味関心：鉄鋼金属の製造・加工、河川・港湾等水利施設、飛行機生産・戦跡
(2015/05/15)、後藤充伯 興味関心：鉄道、建築、土木遺産、街並み、音楽、民族 (2015/05/25)
- 立花健二 興味関心：産業機械、歴史的電気応用製品、交通機械類 (2015/06/18)
- ・退会：なし

14:15 終了

第1回さんぎ大学 講話会 「産業遺産」とは

共催 トヨタ産業技術記念館 中部産業遺産研究会

14:30 開会あいさつ

14:35 講話① 「注目される産業遺産—新たな楽しみ方—」 天野武弘

15:20 質疑応答

15:35 講話② 「佐吉の想いと遺された煙突基礎—歴史、保存—」

成田年秀 (トヨタ産業技術記念館 副館長)

16:20 質疑応答

16:30 煙突基礎の遺構見学会

17:00

第136回定例研究会・見学会開催の案内

開催日時：2015年9月27日（日曜日）10時集合～15時頃解散 雨天決行

当日午前6時に名古屋地区に暴風・大雨警報の発令時は中止予定です。

電子メール版ニュースレターなどを確認できない会員の皆様は、下記の担当幹事までご連絡ください。

◇ 天野例会幹事：0533-85-1504、携帯090-1758-9601

◇ 大橋事務局長：052-876-0337、携帯090-1095-8302

集合場所：近鉄長島駅（南側が出口） 10時

参加費：500円（入館料、自家用車提供者へ謝礼）当日受付の時

[内容]

「木曾三川資料館 木曾川文庫見学と河川改修施設・遺構を見る。」

午前：近鉄長島駅より、乗用車乗り合わせにて20分程度の「木曾川文庫」を見学。薩摩藩による宝暦治水工事、デ・レーケ指導の明治改修工事の調査・計画関連資料の説明を受けます。公園内の重要文化財「船頭平閘門」、デ・レーケ像を見学し、木曾三川公園治水タワー広場にて、昼食（各自持参）と休憩。

午後：薩摩藩の宝暦治水殉職者を祭神とする「治水神社」及び「近代治水百年記念碑」を見学・参拝。同時に明治改修で施工されたケレップ水制工が河川内に見られます。最後に輪中の災害歴史・生活・文化を勉強できる「輪中の郷」へ移動し見学。

15時頃：長島駅に戻り解散します。（尚、輪中の郷は入館料310円が必要となります）

参加希望者は 住所、氏名、自家用車を出すことに協力可能か同乗の区別を明示し下記へ申し込み。自家用車の準備がありますので見学会参加希望者は7月定例研究会当日（7/12）までに連絡をお願いします。

事務局大橋へ E-mail : ohashi05@ai.wakwak.com

電話・FAX : 052-876-0337